

迎春

《若穂の里の豊穰と平安を願って》



(綿内山新田区から善光寺平を望む)

誇れる“若穂の地”づくりに

◆若穂地区住民自治協議会長 □□□□◆

若穂のみなさま、新年あけましておめでとうございます。心新たにスタートをされたことと思います。今年こそ一人ひとりにとって豊かな年でありますようにと、願わずにはられません。ご承知の通り、社会情勢は極めて厳しく、景気は上向きとはいえ中小・零細企業はなかなかその影響は受けられず、非正規・派遣労働者や臨時・パート職の人たちは一段と辛い環境下におかれています。そして、少子高齢化が進み介護を必要とする人たちは増加し、長野市でも特別養護老人ホームの待機者は1400人を超えられています。



このように自分の足元をみただけでも、社会の大きな転換期を迎えていることに気づきます。こうした難しい時期に、若穂地区住民自治協議会の会長の名を受け、責任を感じているところです。

本年度から長野市は”自分たちのまちは自分たちでつくる”と『都市内分権』を本格実施しましたが、若穂はそのことを踏まえて組織の見直しや会計の一本化、事務局体制の強化などの基盤整備を進め、受動的ではなく、むしろ積極的に若穂の住民自治のあるべき姿や、まちづくりを追求する契機としたいと考えてきました。長野市が平成の合併によりさらに巨大化した中で、一地域に埋没することなく、元気で発信力のある若穂とするためには、この地区が持っている自然や歴史、産業や人的資源を一丸とし、その地域力を高めていくことが必要であり、情報の共有と参加を基本としながら、自治協はその中心的な役割を担っていきたいと思います。

この間、自治協傘下となった8つの団体事業をはじめ屋代線存続運動など多くの地域課題にも取り組んできましたが、どれだけの人たちが参加し、そこで何を学び、どう実践に移すことができたかが問われるところだろうと思います。人は一生に一度しか生まれてくることができません。だから、誰もが生まれてきてよかったと思える社会づくりを、そして誇れる”若穂の地”をめざし、みなさまと手を携えて邁進していきたくと思っています。

本年がみなさまにとって、さらに良い年でありますよう、心からご祈念申し上げます。



保科須釜で里山の緩衝帯整備

市の「やまざと支援金」と地元の方のご協力
で、整備が実現しました。有害鳥獣との「境界
線」にもなります。この支援金は実績に対して交
付されるもので、保科地区が対象となっていま
す。... (□□□□地域活性化推進員)

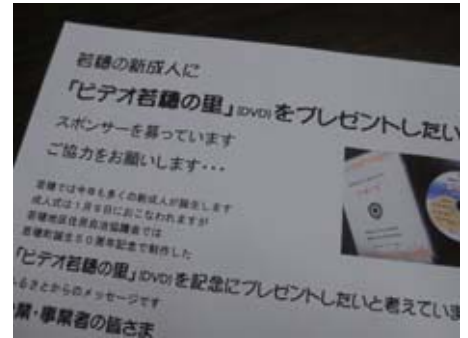
スポンサー協力で新成人にビデオ「若穂の里」(DVD)をプレゼント

若穂地区の成人式は1月9日(若穂公民館主催)。その門出を祝して、式典参加の新成人にビデオ「若穂の里」(DVD)をプレゼントします。

商工会若穂支部(□□□□支部長)の協力をえて、24の企業等からスポンサー協力をいただきました。ありがとうございました。

【協賛企業等】 JAグリーン長野若穂支所・JAグリーン長野綿内支所・ブライダルやまと・ほけん事務所21・東洋堂・豊裁園・稲田製作所・前角製作所・原澤屋・八十二銀行若穂支店・若穂病院・アトリエCoCoキッチン

CoCo・若穂建設・しあわせ家田尻木材・ケアプラザわかほ・榊屋商店・長野信金若穂支店・峯村清月堂・湯本製作所・轟電機・若穂幼稚園正満寺保育園・こまつ工房・若穂地区献血推進協・匿名1 (略称・申し込み順)



第2回『平成わかほ塾』で若穂を語り合う／運営委員会スタート

12月18日(土)の午後開催された『わかほ塾』には60数名が参加。ビデオ『若穂の里』を上映した後、若穂の歩みやまちづくりについて、ゲストの岡田荘史市議を交えてビデオ制作スタッフや会場参加者がフリートーク。村や町当時の、役場職員の皆さんにも多数かけつけていただきました。なお、今回から塾は運営委員会のスタッフが進行。メンバーは□□□□(塾長)・□□□(副塾長)・□□□□・□□□□・□□□□・□□□□の皆さんです。今後にご期待を！(綿内塾長の挨拶→)



◆12月16日、社会福祉協議会の□□□□会長らが若穂にある6つの福祉施設を訪問して恒例のプレゼントを手渡しました。

(←綿内児童センターでは児童たちが歓迎)

◆12月7日、テレビ信州の「ゆうがたGet！」が20数分間にわたって、保科の山下商店、永保荘、Iターン農家、綿内駅の公文塾、川



田関崎橋のロケ現場を紹介。若穂からの素晴らしい情報発信でした。(ロケ当時の説明をする町川田の□□□さん↑)

◆(↓講演する□□□□さん) 12月11日には支所で住民福祉大会を開催。参加者は、障害を克服してバイオリン演奏家となった牧美花さんの演奏と、パラグアイで2年間JAICAの活動にあたった□□さん(川田大門)の講演に聞き入りました。



子育てを終え、臨床検査技師としての病院職
場を早期退職しての挑
戦に拍手です！

少子高齢化や西友若穂店撤退、屋代線の存続危機・・・と厳しい現実直面している若穂ですが、巨大化した長野市の一地区に埋没することなく、小布施でもない、松代でもない、思いやりと誇りあるまちづくりを進めたいものです。それには皆さんのマンパワーが必要です。来年も、若穂の自治協活動にチエとズクをお寄せください。お待ちしております。(事務局)



ビデオ「若穂の里」は有料頒布(700円)。ご希望の方は自治協へお申し込みを。

【若穂地区住民自治協議会 電話 050-8686-5700 有線 2062 Email wakaho.j@grn.janis.or.jp】